

平成30年11月28日
科学技術振興機構（JST）
Tel: 03-6380-9014

出資型新事業創出支援プログラム（SUCCESS）における Telexistence 株式会社への追加出資の決定について

JST（理事長 濱口 道成）は、出資型新事業創出支援プログラム（SUCCESS）において、Telexistence株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 富岡 仁／Charith Fernando、以下「TX Inc.」という）への追加出資を決定しました。

TX Inc.は、JSTの戦略的創造研究推進事業 CREST^{注1)} 研究領域「高度メディア社会の生活情報技術」 研究課題「レイグジスタンス^{注2)}を用いる相互コミュニケーションシステム」（平成12年～17年）、研究領域「共生社会に向けた人間調和型情報技術の構築」 研究課題「さわれる人間調和型情報環境の構築と活用」（平成21年～26年）および戦略的創造研究推進事業 ACCEL^{注3)} 研究開発課題「触原色に立脚した身体性メディア技術の基盤構築と応用展開」（平成26年～平成31年）（いずれも研究代表者 舘 暲（現 東京大学 名誉教授））を通じて開発されたレイグジスタンス技術の実用化を目指し、平成29年1月23日に設立されたベンチャー企業です。SUCCESSでは平成29年5月より支援を開始しています。

TX Inc.は、舘名誉教授の長年の研究開発成果を基に、インターネットを介したロボティクスにおける遠隔制御、通信、仮想現実、触覚、人工知能などのさまざまな技術を駆使したレイグジスタンスロボットを開発し、身体機能の遠隔地への伝送を実現することで、個人、企業、社会の生産性を飛躍的に向上させることを目指します。

TX Inc.は、前回出資時より量産型プロトタイプロボット「MODEL H」（写真）を開発し、事業会社との連携推進や小笠原諸島への遠隔旅行体験の提供など事業開発を進めてきました。今回得る資金により、レイグジスタンスの社会実装に向けた優秀な人材の獲得を進めるとともに、レイグジスタンスによる遠隔旅行、人の動作の自動化などの事業・製品開発を一層加速します。

SUCCESS では今後も、JST の研究開発成果を実用化しようとするイノベーティブなベンチャー企業に対して、成長資金の供給や関係機関のネットワークを活用したサポートを提供することにより、実用化を通じた先端技術の社会への還元を進めていきます。

〈SUCCESS 事業概要〉

JSTは平成26年4月より、「出資型新事業創出支援プログラム」（略称：SUCCESS Support Program of Capital Contribution to Early-Stage Companies）を実施しています。本事業は、JSTの研究開発成果の実用化を目指すベンチャー企業に対しJSTが出資並びに人的および技術的援助を行うことでその創出および成長を促進し、当該ベンチャー企業が行う事業活動を通じてJSTの研究開発成果の実用化・社会還元を促進することを目的としています。また、出資を通じてJSTがベンチャー企業の株主になることで、民間の資金を誘引する「呼び水効果」を狙っています。
URL：<https://www.jst.go.jp/entre/>

<企業概要>

| | |
|-------|---|
| 企業名 | Telexistence 株式会社 |
| 設立日 | 平成 29 年 1 月 23 日 |
| 本社所在地 | 東京都港区 |
| 代表取締役 | 富岡 仁、Charith Fernando |
| 事業内容 | レイグジスタンス技術を活用したロボティクス開発、クラウドシステムの開発およびデータサービスの提供 |
| URL | https://tx-inc.com |



写真 TX Inc.が開発した量産型プロトタイプロボット「MODEL H」

<用語解説>

注 1) 戦略的創造研究推進事業 CREST

国が定める戦略目標に向けて、課題達成型基礎研究を推進し、科学技術イノベーションを生み出す革新的技術シーズを創出するためのチーム型研究を行うJST事業。

注 2) テレイグジスタンス

遠隔のロボットを自分の分身として利用し人間を時空の制約から開放しようとする概念。1980年に世界で初めて、東京大学 名誉教授の舘 暲 博士によって提唱された。遠隔に置かれたロボットのセンサ情報をオペレーターが受けながら、ロボットを制御することにより、遠隔におけるタスクを実行するマスター・スレーブ型のロボットシステムの発展形式。人間型ロボットメカニズム、制御、視覚、聴覚、触覚のセンシング、人間の運動計測、人間への視覚、聴覚、触覚提示、データ伝送など、ロボット工学、バーチャルリアリティ、通信、ヒューマンインタフェース、認知心理学など多岐の領域にわたる知識、技術、ノウハウが基となっている。

注 3) 戦略的創造研究推進事業 ACCEL

基礎研究の成果を最大限に活かした社会的・経済的価値創造へのビジョンと具体的用途を設定し、イノベーション指向の研究開発マネジメントにより、技術的成立性の証明・提示及び適切な権利化を推進するJST事業。

<お問い合わせ先>

- Telexistence 株式会社に関すること

Telexistence 株式会社

担当：彦坂 雄一郎

E-mail: info@tx-inc.com

URL : <https://tx-inc.com>

- SUCCESS 事業に関すること

科学技術振興機構 起業支援室

〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町

Tel : 03-6380-9014 Fax : 03-5214-0017

E-mail : entre@jst.go.jp